普及活動情勢報告（令和７年 12 月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

昨年より今年、今年より来年の収量UPを目指して　～四万十ぶしゅかん生産組合～

11 月 18 日、四万十市のほ場でぶしゅかんの栽培講習会が開催され、生産者 16 名、関係機関４名が参加しました。

農業改良普及課からは、隔年結果を防止するため、秋から冬にかけての礼肥、せん定などの栽培管理について説明しました。

生産者からは、「肥料はどれくらい撒けばよいのか？」「樹高を下げたいが、どのようにせん定したらよいか？」などの質問がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関とともに、ぶしゅかんの安定生産に向けて支援していきます。

今作の振り返りと次作に向けて　～ＪＡ高知県中村支所シシトウ部会反省会～

11 月 19 日、ＪＡ高知県中村選果場で中村支所シシトウ部会の反省会が開催され、生産者 10 名が参加しました。

農業改良普及課からは、今作の栽培の振り返りと高温対策について説明しました。

雨除け栽培の生産者からは、「夏場は暑くて管理作業が大変だった」との声があり、農業改良普及課が提示した高温対策について関心を示していました。

農業改良普及課は、今後も夏秋シシトウ産地の維持・発展に向けた支援をしていきます。

今作の開花状況を確認　～ＪＡ高知県宿毛支所イチゴ部会現地検討会～

11 月 19 日、ＪＡ高知県宿毛支所イチゴ部会員のほ場で現地検討会が開催され、生産者 15 名、関係機関５名が参加しました。

農業改良普及課からは、高温対策にかかる遮熱資材を活用した実証ほの中間報告を行いました。

生産者からは、「この温度だと高温対策は必須になっている」「遮熱資材も試してみたい」「どの資材も高くなっていて困る」などの声がありました。

農業改良普及課は、今後も高温対策技術の検討に取り組み、施設イチゴの安定生産に向けて支援していきます。

ミョウガの品質はどんな感じ？　　～ミョウガ目慣らし会～

11 月 19 日にＪＡ高知県宿毛野菜集荷場で、26 日にＪＡ高知県大方支所選果場で、ミョウガ部会の目慣らし会が開催され、生産者及び関係機関延べ 26 名が参加しました。

農業改良普及課は、作業安全の見直しや作業場の整理整頓について提案しました。

参加者からは、「整理整頓は大事だが、後回しになってしまっている」「少しずつ取り組みたい」との声がありました。

農業改良普及課は、巡回による栽培管理指導を行うとともに、ミョウガ部会の活動を支援していきます。

施設レモンの安定生産に向けてがんばろう　　～黒潮アドバンス～

11 月 25 日、黒潮町で施設レモンのせん定講習会が開催され、黒潮アドバンス（施設レモン生産者組織）４名、関係機関３名が参加しました。

農業改良普及課からは、せん定による枝の混み合い部分の解消や、今後の病害虫防除について説明しました。

参加者からは、「どの枝から切ってよいのか分からない」「交差している枝の解消から取り組んでみる」「カイガラムシの防除に苦慮している」などの声がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関とともに、施設レモンの安定生産に向けて支援していきます。

ドローンの本格運用に向けて　～ドローン研修会（同）スマートアグリ中村～

11 月 26 日、四万十市の入田土地改良区事務所で来年度から本格運用するドローンに関する研修会を開催し、集落営農法人６名、関係機関３名が参加しました。

研修会には、講師として先進的に土佐清水市でドローンの共同利用を行っている（一社）とさしみずファームスを招聘し、DIPS2.0 の操作やドローン運用体制について意見交換を行いました。

参加者からは、「飛行計画の通報の仕方がわかった」「実際に運用している組織の話を聞けて良かった」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、来年度のドローンの本格運用に向けて、スムーズな利用体制ができるよう支援していきます。

厳寒期の管理に向けて考えよう　～黒潮町キュウリ若手現地検討会～	
	12 月 3 日、黒潮町農業公社のほ場で現地検討会が開催され、生産者 12 名、研修生３名、関係機関４名が参加しました。 農業改良普及課からは、10 月～11 月までの気象、栽培状況、今後の管理方法、病害対策、黒潮町農業公社の耕種概要についての資料を作成し、説明しました。 生産者からは、「病害が起きる原因が理解できた」「公社は 10 月～11 月でどの程度の重油を使用したか？」などの意見や質問がありました。 農業改良普及課は、今後も現地検討会を開催し、黒潮町若手キュウリ農家の栽培技術向上に向けて支援していきます。

第２回四万十レディース Kitchen　～幡多地区農村女性リーダー研修会～	
	12 月 9 日、四万十市しまんとぴあキッチンスタジオで、幡多地区の農村女性リーダー「四万十レディース」５名が参加し、生産物を使った料理や加工品の実演・試食を行いながら情報交換しました。 農業改良普及課は、研修会のコーディネートの他、今回の食材テーマであるチンゲンサイやユズ、青パパイヤ等を使ったレシピの提案や実演を行いました。 研修会では、実演・試食に加えて、今後の活動コンセプトや情報発信の仕方など、活発に意見が交わされました。 農業改良普及課は、今後も地域の農村女性リーダーの活動を支援していきます。